

## 18 ブラシウス『動物比較解剖学』(一六八一年)の解剖図について

松尾 信 一

昭和四十九年(一九七四)八月、「解体新書出版二百年記念展(日本橋三越本店)が開催された。その時の展示本の中に、ブラシウスの動物解剖書(ライデン大学蔵)があった。その時以来、演者はこの書物に関心をもってきた。今年には日蘭交流四百周年の年である。この機会に、ブラシウス本の動物解剖図について調査した。

本書の著者は、BLASIUS, GERARD. 書名は、Anatome Animalium, Terrestrium variorum, Volatili-um, Aquatili-um, Serpentum, Insectorum, Ovorum-que, structuram naturalem ex Veterum, Recentiorum, propriisque Observationibus proponens. Amsterdam, 1681.とある。長い書名であるが、本書の初めの大文字 Anatome Animalium とその内容から『動物比較解剖学』

と記す。サイズは260×212 mmで、現在の変型A4判の1冊本である。本文四九六頁、銅版図版六〇あり、ラテン語本である。

ブラシウスは一六二五年オランダKadzand生れ、一六九二年アムステルダムで死去。一六四六年ライデン大学医学士(M.D.)。アムステルダム大学教授、人を含む多くの哺乳類、鳥類、爬虫類などを解剖し、他に著書もある。

今回の解剖書は、彼自身および多くの研究者達の業績も含めた当時としては、最も総合的な動物比較解剖書であり、多くの動物の全形があり、解剖図も優れたものが多い。本書は陸棲動物(哺乳類が多い)、飛行動物(鳥類とコウモリ)、鶏の発生図、水棲動物、昆虫、蛇などである。その内容は、哺乳類では、

霊長目。(サバンナヒト)樹上全身図、骨格、頭骨と下顎骨、眼球、呼吸器、回盲腸部の外景と内景、雄の尿生殖器(副腎はArteria emulgentes)などの解剖図。

食肉目。(犬についての詳細な解剖図がある)。(ライオン)全身図、幼体の骨格、成体の頭骨・下顎骨、前肢肢端骨

格、舌の構造（糸状乳頭の角化を示す図）、呼吸器消化器、雄の尿生殖器の図など。〔ネコ〕胆嚢胆管と臍管の十二指腸への開口部、胎仔と臍帯の図など。〔ジエネット〕〔ジャコウネコ科〕全形、骨格、腎臓と副腎 (Ren succenturiatus)、雌雄尿生殖器の図など。〔イヌ〕骨格、舌・喉頭・気管(甲状腺を明示)、心臓と肺、子宮と胎仔、陰茎の図など、本文中に Os Penis の用語。〔テン〕〔イタチ科〕全形、骨格図。〔クマ〕全形、骨格、前肢と後肢、胃の形態、腎臓(分葉腎)の外景と内景の図など。

偶蹄目。(牛と羊について詳細な解剖図がある)〔ウシ〕眼球、聴器、耳骨、耳筋、頭蓋腔と下垂体、松果腺、唾液腺、下顎部喉頭部舌骨、頸静脈と弁、四個の胃の内景、脾臓、胆管と臍管の十二指腸への開口部、気管と気管支(右肺に気管の気管支を示す)、腎臓と副腎 (Capsula Aperia)、雌雄生殖器、子宮内胎仔などの図。〔ヒツジ〕脳、雌の生殖器(子宮内胎仔)の図。〔レイヨウ〕全形、肢端部、肝臓・胃・脾臓・腎臓、四個の胃の内景、第二胃の蜂巢状粘膜の図など。〔ヒトコブラクダ〕全形、前肢と後肢の肢端、舌、四個の胃、眼球、松果腺、陰茎の図など。

奇蹄目。〔ウマ〕骨格、喉頭部、胸管、胎仔の図など。兎目。〔アナウサギ〕全形、胃・小腸大腸、とくに、盲腸のラセンヒダを示す図、雌の生殖器和胎仔の図など。鳥類では、〔孔雀〕〔鷲〕〔鶴〕〔オオム〕〔鳥〕〔コウモリ〕(飛行動物)。〔青鷲〕〔白鳥〕の骨格図。クジャクとアオサギの消化器(孔雀に嚙嚢あり)、雄鴨の気管の骨胞、鶏の雌雄生殖器、雄鶏のファブリシウス囊、鶏の詳細な発生図など。

爬虫類では、〔カメレオン〕全形、骨格、舌の伸縮時の比較図、肺と気囊の図、内臓図など。〔亀〕全形、骨格、内臓、気管と肺、雄の生殖器の図など。〔蛇〕毒蛇の形(頭部の毒牙と排泄口から胎仔の出現)、内臓臓器、発生図など。水棲動物では〔イルカ〕の頭骨、肩甲骨、前肢骨格の図。〔蛙〕全形、骨格、筋肉、脳、肺、生殖器、発生図など。

その他、魚類、昆虫、エビ、カキは省略。

(横浜市)